

平成 30 年度（上期）観光入込み数 増減要因

1 平成 30 年度上期の観光入込み数について

上半期の観光入込み数は 922,195 人で、▲120,715 人の減（前年比 88.4%）となった。

【内訳】

項目	H30 年度（上期）	H29 年度（上期）	
宿泊者数	45,167	48,674	▲3,507（前年比 92.8%）
日帰り客数	877,028	994,236	▲117,208（前年比 88.2%）
計	922,195	1,042,910	▲120,715（前年比 88.4%）

2 増減要因の総括について

<減少要因>

- ・本年 3 月末に閉館したアイヌ民族博物館（平成 29 年度上期実績 122,299 人）の影響を受け減少となった。
- ・白老町全域において、4 月から 8 月まで全体的に客数が増加傾向にあったが、9 月の北海道胆振東部地震のあおりを受け、特に虎杖浜地域の温泉宿泊施設において▲3,769 人の減少となった。

<増加要因>

- ・虎杖浜エリアにおける新たな観光施設のオープンに加えて、日帰り入浴の客数でも 4 年振りに増加に転じ、15,399 人増（対前年比 121.4%）を記録した。

3 地区別の主な増減要因

（1）虎杖浜温泉エリア（竹浦・虎杖浜地区）

○虎杖浜温泉地域の全体の観光入込み数は 512,380 人で、22,491 人の増（前年比 104.6%）となった。

<増加要因>

①日帰り（ホテル・旅館）87,271 人 15,399 人の増（前年比 121.4%）

- ・個々の施設におけるインターネット集客戦略やお得な割引クーポンの展開により増加した。
- ・北海道胆振東部地震においては、社会貢献として被災者を積極的に受け入れる施設もあり、9 月同月比において増加となった施設があった。

②飲食店・みやげ 272,132 人 17,384 人の増（前年比 106.8%）

- ・飲食店やみやげ施設では、4 月から 8 月まで各月にて入込みが微増で全体的に入込数を押し上げる結果となった。
- ・新たにオープンした観光施設では、ファミリー層を中心として増加となった。

③自然景観 65,530 人 1,357 人の増（前年比 102.1%）

- ・クッタラ湖を調査地点とする自然景観では、昨年度は暴風雨による悪天候の影響を多々受け通行止めの期間も長いものであったが、本年は例年並みに回復したものである。

④まつり・イベント 12,300 人 800 人増（前年比 107.0%）

- ・今年で 7 回目を迎えた「虎杖浜三大まつり」では、小規模ではあるが味覚の売りがファンの獲得につながっている。さらには毎年訪れる方も増えており、知名度の高まりと共に来場者数が増加した。

<減少要因>

①宿泊客（ホテル・旅館）42,130 人 3,769 人の減（前年比 91.8%）

- ・北海道胆振東部地震の影響により、9 月宿泊客が減少となった。

②スポーツ・レクリエーション 33,017 人 8,603 人の減（前年比 79.3%）

- ・週末の天候不順により、大会・イベントの中止等が相次いだため減少となった。

(2) 白老エリア（社台～北吉原地区）

○白老地区の全体の観光入込み数は 409,815 人で、143,206 人の減（前年比 74.1%）となった。

<増加要因>

①宿泊客（ホテル・旅館） 3,037 人 262 人の増（前年比 109.4%）

・象徴空間開設の大規模工事に伴う、作業員の長期滞在を希望するニーズに応えることができた。また、アットホームな雰囲気や美味しい料理も好評を博し、受入れ増加につながった。

②パン・スイーツ

・パン・スイーツ専門店において、口コミやSNS等の発信により札幌圏からの多くの来訪者の獲得に成功し、本町の強力な観光素材となりつつある。

<減少要因>

①飲食店・みやげ 231,948 人 1,686 人の減（前年比 99.3%）

・雑誌広告等の宣伝により増加している店舗や、新規開業の店舗があったが、アイヌ民族博物館の閉館に伴い、回遊性の低下の影響を受けた飲食店もあり減少となった。

②文化・歴史 3,239 人 122,495 人の減（前年比 2.6%）

・アイヌ民族博物館の昨年度上期実績分による減少。（前年実績 122,299 人）

③スポーツ・レクリエーション 38,888 人 5,168 人の減（前年比 88.3%）

・週末の天候不順・北海道胆振東部地震の影響に伴い、減少となった。

④体験・ツーリズム 1,835 人 5,921 人の減（前年比 23.7%）

・教育旅行のコース変更に伴い、体験施設の受け入れが減少となった。

⑤まつり・イベント 121,932 人 8,785 人の減（前年比 93.3%）

・「白老牛肉まつり」は、天候にも恵まれ 48,200 人と大きく増加となった。

・雨等の悪天候により、7月開催の「元気まちしらおい港まつり」29,400 人（対前年比▲20,000 人）となり、9月開催の「白老八幡神社祭」は 38,000 人（対前年比▲2,000 人）と減少した。

4 訪日外国人宿泊客数調査 6,459 人 1,839 人の増（前年比 139.8%）（H29 上期 216.5%）

○観光入込調査と並行して行う訪日外国人宿泊客数調査では、9月は北海道胆振東部地震の影響を受け減少（対前年比▲415 人）したが、4月から8月まで全体的に外国人宿泊客が増加となった。

◎主な国籍 韓国 1,714 人（前年 852 人）、中国 1,056 人（前年 1,920 人）、香港 869 人（前年 419 人）、台湾 757 人（前年 545 人）、シカゴポール 435 人（前年 197 人）、マレーシア 395 人（前年 233 人）、タイ 311 人（前年 119 人）

5 過去 5 年間の入込客数の推移（上期分）

平成 26 年度	1,035,446 人	（ 5,508 人	0.5%）
平成 27 年度	1,063,841 人	（ 28,395 人	2.9%）
平成 28 年度	1,066,011 人	（ 2,170 人	0.2%）
平成 29 年度	1,042,910 人	（ ▲23,101 人	▲2.2%）
平成 30 年度	922,195 人	（ ▲120,715 人	▲11.6%）